



元気いっぱいに歌う園児たち

12月12日 【市役所】

## 小さなサンタからの 歌と笑顔のクリスマスプレゼント

かまいしこども園の4～5歳児約30人が、毎年恒例のキャロリングでサンタクロースの衣装に身を包み「ジングルベル」「あわてんぼうのサンタクロース」「よろこびのうた」の3曲を披露しました。元気いっぱいの歌声とかわいらしい姿に、見ていた人たちは自然と笑顔になり心温まるひとときになりました。演奏後は、園児たちが描いた絵などが入ったプレゼントが送られました。



母国の民族衣装で伝統の踊りを披露する日本語学科の留学生

12月20日 【釜石市国際外語大学校】

## 言葉と文化でつながる1日 釜石市国際外語大学校で初の学園祭

釜石市国際外語大学校で初めての学園祭「釜国祭」が開かれました。日本人学生と留学生が協力し、言葉や文化をテーマにした展示や体験コーナーを企画しました。会場では、母国の民族衣装の試着やフォトブース、釜石の名所を巡るすごろくなどが行われ、来場者は学生との交流を楽しみました。留学生による踊りや料理の紹介もあり、国際色豊かな学びとふれあいの1日となりました。



高橋泰地選手が公式戦初トライを決め喜び選手たち

12月21日 【釜石鵜住居復興スタジアム】

## 日本製鉄釜石SW 待望のホスト開幕戦初勝利

日本製鉄釜石SWは、日野RDに36－14でリーグワン発足後のホスト開幕戦で待望の初勝利を成し遂げました。試合では、序盤からテンポよく得点を重ね、堅いディフェンスで相手の反撃を封じる展開となりました。好スタートを切ったチームに、ケフHCは「セットプレーが良く、いいゲインラインを切れたことで、勢いが生まれた。この一勝は自信につながる」と今後に期待しました。



観音像の入り口で新年初のお参りをする人たち

1月1日 【釜石大観音 他】

## 2026年幕開け 願いを胸に踏み出す1年の始まり

新たな年を迎え各地の神社や寺に多くの初詣客が訪れ、新年の無事や多幸を祈願しました。釜石大観音では、おみくじを引いたり、縁起物の熊手や破魔矢、各種お守り、お札を買い求める人たちや記念写真を撮る人たちも多く、新しい年への期待感を高めました。両石港では、水平線から昇る初日の出を一目見ようと人々が集まり、穏やかな光に1年への思いを重ねていました。

12月2日 【鵜住居小学校】

## 工場稼働25年 “釜石産”東京ラスクが学校給食に

(株)グランバー東京ラスク釜石工場は、工場稼働25周年を記念し、市内の学校給食（9小学校と5中学校、祥雲支援学校）に自社製品「東京ラスク（シュガーバター味）」を無償提供しました。今後、年1回「ラスクの日」として継続提供していく予定です。鵜住居小6年の藤原堯さんは、工場で働く人たちに「おいしいお菓子を作ってくれてありがとうと伝えたい」と感謝の思いを口にしました。



「東京ラスク」の給食提供を喜び鵜住居小6年の児童たち

12月3日 【市長室】

## 岩手県若年者技能競技会で岩手県知事賞 建築業界に貢献を

釜石高等職業訓練校建築設計科2年の金浜百果さんは、岩手県若年者技能競技会で金賞に加え、最高賞の岩手県知事賞を獲得しました。競技では、10人が出場した建築設計科2年の部で、4時間の競技時間内に手書きの建築設計図を作成する課題に挑みました。市長報告では、関係者から祝福の言葉が送られ、金浜さんは「建築業界に貢献できるよう頑張りたい」と力を込めました。



入賞を報告した金浜百果さん

12月4日 【岩手県水産技術センター】

## 受け継ごう！地域の食文化 新巻鮭づくりを体験

釜石小5、6年生の約20人は、新巻鮭づくりを体験しました。新巻鮭を食べたことがない児童がほとんどだったため、生徒たちは味わいを想像しながら地域の食文化に触れました。釜石小6年の金澤花怜さんは「魚をさばくのは初めて。えらを取るのが難しかった。力が必要で大変だったけど楽しかった。新巻鮭は食べたことがないけど、おいしくできたらいい」と、仕上がりを心待ちにしていました。



さばいて水洗いしたサケに塩をすり込む児童たち

12月11日 【青葉通り】

## まちを彩る冬灯り 若手有志の想いがまちに笑顔を

5人の若手有志が企画したイルミネーションイベント「かまいし冬灯り」の点灯式が行われました。家庭や事業所の電飾を集めた光の演出や大きなハートのオブジェが並び、親子連れなどが笑顔で光の道を楽しみました。有志の三浦愛美さんは「釜石を明るく、あたたかくしたい。この灯りが暮らす人、帰ってくる人、訪れる人の心を照らすことができればいい」と思いを寄せました。



光る雪の結晶を見つめる子ども